



図 1 (上部) TNS01 測定例

ステンレス製の筒 IT02 (2) に取り付けられた非定常プローブ TP07 (3) を土壌サンプルに差し込みます。ユーザーは CRU01 (3) によってセンサーの制御を行い、データを読み取ります。CRU01 に内蔵されている充電式バッテリーから TP07 に電源が供給されます。測定結果は即時に見ることが出来ます。

図 2 (右) TNS01 測定例

ステンレス製の埋め込み用ポール: LN01 (2) の先端に取り付けられた非定常プローブ: TP09 (1) を土壌に差し込みます。これは通常高電圧ケーブルが埋め込まれている 1m 以上の深さの測定を行う状態です。

	ニードル	ケース	ツール	付属品
FTN	TP09	TC01	LN01	CRU+ Access.
MTN	TP07	TC02	IT02	CRU+ Access.
TNS	TP09 & TP07	TC01	LN01 & IT02	CRU+ Access.

表 1 TNS01 は基本的に FTN と MTN を組み合わせから成っています。

高精度のキャリブレーションには CRC (キャリブレーションリファレンスシリンダー) も入手可能です。TP07 型ニードルの硬質土壌への挿入用の GT シリーズ導入チューブの要請も承ります。

[ 英語原文 V 0616 ]

## TNS01 ニードル型熱抵抗/熱伝導率測定システム一式

TNS01 は多様な土壌における熱抵抗又は熱伝導率を迅速に測定することができるニードル型の測定システム一式です。この測定方法は ASTM D 5334-92 同様、IEEE 標準 442-1981 に準じています。

このシステムは 2 種類のプローブを使い分けることによって多様な測定環境での使用が可能です。またこの TNS01 システムの一部である、MTN や FTN、TPSYS (さらに高精度である分、ニードルの耐久性に欠けます) のカタログを参照いただくことをお勧めします。

